

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	10-8																																								
PDCA	主要事業名	感震ブレーカー設置促進事業	部課名	総務部防災安全課	担当 内線	中村 288																																									
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 500 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.05.02.58 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 500 千円						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 火災の延焼拡大する恐れがある地域、初期消火及び避難行動に時間を要する高齢者、障がい者等のいる世帯について、感震ブレーカーを設置した費用の一部を補助し、大規模地震時の電気に起因する火災の被害を軽減する。																																													
		事業目的： 感震ブレーカーを設置した費用の一部を補助し設置の促進を図ることで、大規模地震時の電気に起因する火災の被害を軽減する。																																													
		事業内容： 令和3年度は500世帯を目標として設置促進を図る。																																													
		問題点・課題等： 感震ブレーカー設置を推進するためには、住民の防災意識を高めるとともに積極的な広報及び自治区との連携が必要である。																																													
	予算額	主要事業とする理由																																													
	500 千円	大規模災害時の出火要因の多くを占める電気に起因する火災の被害を軽減するため、感震ブレーカーの設置を促進することで、火災発生の抑制を図るため。																																													
	財源内訳																																														
	市費	得られる成果																																													
	500 千円	大規模地震時の出火要因の多くを占める電気に起因する火災発生を抑制し、被害の軽減に繋がる。																																													
	国費																																														
	0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">感震ブレーカー設置補助金交付件数</td> <td>実績値</td> <td>143</td> <td>14</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>500</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	感震ブレーカー設置補助金交付件数	実績値	143	14	—	件	目標値	1,000	1,000	500	件		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																									
	感震ブレーカー設置補助金交付件数	実績値	143	14	—	件																																									
		目標値	1,000	1,000	500	件																																									
	実績値																																														
	目標値																																														
その他	実績値																																														
	目標値																																														
0 千円																																															
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																													
	7 千円	感震ブレーカー設置補助金交付及び普及啓発活動を通じ、大規模地震時の出火要因の多くを占める電気に起因する火災発生の抑制及び被害の軽減に寄与した。																																													
		成果指標				令和3年度	単位																																								
	感震ブレーカー設置補助金交付件数	実績値	6		件																																										
		目標値	500		件																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	D ワクチン集団接種会場での制度案内に係るスライド上映・チラシの配布等、コロナ禍においても、新たな啓発活動に取り組むことができたが、昨年度に続き、自宅への訪問等、接触を避ける世帯が多く、実績値は伸び悩んだ。申請件数の逡巡が課題となっており、事業の在り方から再検討する必要がある。																																													
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	統廃合等 従来の市ホームページへの掲載、防災訓練での制度案内に加え、新たに啓発チラシを作成し、新聞折込及び火災延焼地域を対象としたポスティングを実施することで、事業の周知徹底、申請者の増加を図る。令和4年度の新聞折込等の動員強化の結果を材料に、今後の事業の在り方について再検討を行う。																																													
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																									
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある																																								
		②市民ニーズ	低い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更																																									
	③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																									

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用